



きずな

道新スポーツ旗 第47回全道(U-12) サッカー少年団大会 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう!!

FC DENOVA SSS-A

コンサト-札幌 U-12B LIV. FC U-12A

上江別 JrFC 伏古

コンサト-札幌 U-12A クワ7 フィーズ

札幌地区代表を目指して133チームが8ブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記8チームが全道大会に進出することになりました。全道の場で貴重な経験をしてきてほしいです。

U-12のサッカー大会も残すところリーグ戦と会長杯ということになりました。今大会での経験を生かし、目標を持って日々のトレーニングに励んでください。

7月5日(日) SSS G (A) Aブロック

FC DENOVA	平岡南
6	1-2 5-1
3	

晴天の中キックオフ！試合開始よりこう着状態が続く。前半11分デノバ7番から2番へのパスからシュート、惜しくも左へそれる。均衡が破れたのは14分平岡南の2番から5番へのパスを受け、GKの位置を確認し落ち着いてシュートを決める。ここから試合が動き出す。16分平岡南の2番が右サイドを駆け上がりゴール左上にシュートが決まる。平岡南の時間帯と思われたが、前半終了間際の19分デノバ3番DFが自陣から右サイドを駆け上がり直接シュートを決め前半終了。

後半開始早々、22分デノバ16番のシュートが決まり2-2の同点。25分デノバのファールからのFKのこぼれ球を落ち着いて決め平岡南が再びリードを奪うが28分平岡南のオウンゴールで3-3の同点となる。ここからデノバの猛攻が始まり32分33分36分と立て続けにゴールを決め6-3となる。平岡南も攻めたてるがここで終了。デノバが全道大会進出を決めた。



7月5日(日) SSS G (B) Bブロック

SSS-A	札幌ジュニア
5	1-0 4-0
0	

SSSのキックオフで試合開始。SSSがボールを支配しつつも札幌ジュニアがカウンターで対抗する。SSSの13番のトップを起点に攻勢を次第に強める。前半16分SSSの14番のCKを、ファーサイドの12番がヘッドで合わせゴール右隅へ先制ゴール。そのままSSSのリードで前半終了。

後半もSSSのペースでゲームが進む。23分SSSの14番の豪快なシュートをGKファインセーブするもこぼれ球を10番がつめて2点目。25分SSS

の 10 番のボレーシュートで 3 点目。32 分 12 番のヘッドで 4 点目。再三起点となっていた SSS の 13 番が 5 点目のゴールを決める。一方、札幌ジュニアも前線にボールを集め反撃を試みるが SSS の堅い守りを崩せず 5-0 で SSS が勝利した。



7月5日(日) SSS G(A) Cブロック		
コンサドーレ札幌 U-12B		元町北
1	0-0 1-0	0

コンサドーレのキックオフで試合開始。立ち上がりから中盤での攻防が続く中、元町北はシンプルに相手 DF の裏を狙いチャンスをつかおう。対するコンサドーレは中盤を組み立てサイドから攻撃を試みるが両チームとも決定機を作れないまま前半終了。

後半はコンサドーレがゲームを支配し 11 番のドリブル突破で再三シュートまで持っていき、元町北も GK を中心に粘り強く守り得点を許さない。33 分ついにゲームが動く。ハーフウェイライン付近からコンサドーレ 11 番がドリブルで持ち込み GK との 1 対 1 を冷静に決め先制する。その後は、元町北もカウンターでコンサドーレゴールに迫るがそのまま試合終了。コンサドーレ B が全道大会進出を決めた。

7月5日(日) SSS G(B) Dブロック		
LIV.FC U-12A		アソビに MAKI FCU-12
3	1-2 2-0	2

LIV のキックオフで試合開始。一進一退の好ゲームとなった。立ち上がりから積極的に攻め込む LIV は、1 分に 10 番が、対するアンフィニも 4 分に 9 番がミドルシュートを放つが、何れも GK に阻まれる。その後も交互にボックス付近でチャンスを作り続けるが、8 分に LIV 28 番がドリブルからシュートを決め先制する。しかし、アンフィニも反撃し 8 分に 8 番がシュートを決め同点、10 分には 9 番が左サイドからミドルシュートを決めてアンフィニが逆転し前半を終了。

後半開始早々の 3 分に、1 点ビハインドの LIV が 7 番のシュートのこぼれ球を 28 番がゴール左側の角度の無い所から押し込んで同点とする。その後両チームとも再三にわたりチャンスがあったが、なかなか得点に結びつかず延長突入かと思われた 40 分に、アンフィニの選手が自陣ベンチ前で倒れてファールのアピールも認められずプレーが続く中、LIV が一気に相手陣内に持ち込み 10 番がドリブルで抜け出して倒れこみながらシュートを放ち待望の逆転ゴールを決めた。両チームとも攻守の切り替えが早く実に見応えのあるゲームを展開した。結果は LIV が 3-2 で勝利を収め全道大会の切符を手にした。



7月5日(日) 江別美原G(A) Eブロック

上江別 JrFC	琴似中央	
6	2-0 4-0	0

立ち上がり上江別は DF から左サイドにパスを確実に繋いで琴似中央の DF をゆさぶる。9 分上江別 5 番から右サイドに展開し、11 番の折り返しをゴール前で 6 番が確実に決め先制する。11 分先取点同様 5 番 11 番 6 番とパスを繋ぎ上江別は 2-0 とし優勢にゲームを進めるも、琴似中央は必死にゴールを守り追加点を許さず前半終了。

後半の立ち上がり、上江別 2 番がドリブルで上がりゴール前にセンタリングを上げ 6 番が合わせ 3 点目を決める。その後、23 分 14 番が 4 点目を決める。琴似中央も DF 陣が必死にボールを奪い前線へロングパスをし、9 番 10 番がドリブルシュートを狙うも得点することが出来なかった。上江別は 28 分に 6 番、36 分に 9 番が得点し 6-0 で全道大会進出を決めた。



7月5日(日) 江別美原G(B) Fブロック		
伏古	清田南	
4	3-0 1-0	0

清田南のキックオフで試合開始。開始直後に伏古に得点のチャンス、10 番がドリブルで相手ゴール前に攻め上がると 7 番へパス、相手 DF ともつれながらも 7 番がゴールへ押し込み先制する。その後伏古は攻め続け 4 分 6 分 8 分とシュートを放つが得点ならず。一方 1 点を返したい清田南は、9 番がミドルシュートを放つがゴール上に外れる。10 分伏古は、相手 DF のハンドリングの反則で得た FK を 10 番が直接決め 2-0 とする。さらに 17 分伏古 10 番がゴール正面でパスを受けこの試合 2 点目を決め 3-0 で前半終了。

後半何とか追いつきたい清田南は、猛反撃を開始する。9 番 12 番が攻撃の軸となり果敢にドリブルから伏古ゴールに迫るが得点ならず。清田南の猛反撃をしのいだ伏古は 38 分 CK を 4 番がヘッドでゴール。このまま試合が終了し 4-0 で伏古が全道大会進出を決めた。



7月5日(日) 北電美原(A) Gブロック		
コンサドーレ札幌 U-12A	伏古北	
7	3-0 4-0	0

コンサドーレのキックオフで試合開始、終始コンサドーレのペースで試合が進む。特に右サイドのスルーパスから多くのチャンスがあった。伏古北も必

死にディフェンスをしたり、ディフェンスラインを保ちオフサイドトラップを仕掛けたりと善戦していたが、6分13分20分と失点し前半終了。

前半に続きコンサドーレのペースで試合が進む。一方伏古北も10番を起点に両サイドから攻め続けたが、23分24分31分35分と失点し地力に勝るコンサドーレAが勝利し全道大会進出を決めた。



7月5日(日) 北電美原(B) Hブロック		
クラブフィールズ	SSS-B	
1	0-1 1-0 延長0-0 PK 3-1	1

この日江別美原Gで最後までもつれた代表決定戦。青空のもと最高気温を記録する中キックオフ。10分SSSのDFとGKがお見合いしクラブフィールズの24番が抜けてシュートを放つが決めきれず。前半終了間際、クラブフィールズのDFのクリアミスでSSSの14番がゴール右隅へ流し込み、SSSが1-0でリードし前半終了。

後半28分クラブフィールズ左サイド17番のクロスがSSSのGK前でバウンドしクロスバーに当たり得点ならず。試合終了5分前クラブフィールズ38番の放ったシュートがクロスバーをたたくが30番がつめて同点とする。

試合は延長に入り、両チーム惜しい場面もあったが決着がつかず代表決定戦初のPK合戦となる。

PK合戦の結果3-1でクラブフィールズが勝利し、全道大会進出を決めた。



全道大会の結果は、道協会HPをご覧ください。